



平成30年4月7日(土)

藤 棚

第352号
入学式特別号

狭山ヶ丘学園 学校通信

<http://www.sayamagaoka-h.ed.jp/>
<http://www.sayamagaoka-h.ed.jp/js/>

入学式辞 要旨

校長 小川義男

中学 高等学校への入学を心から歓迎
大切なことは、互いに優しくすること
友を得るために心がけるべき事
自分以上に あるいは自分と同じように相手を大切にすること
できる できない 同意する同意しない 常に意思を明確にすること

挨拶をしっかりとできる人間に
横からの 後ろからの挨拶を受けたときの清々しさ

民主主義国家の持つ素晴らしさを自覚する
中国 偉大な国家だが都市戸籍と農村戸籍の違いがあると聞く
生活水準も異なる
汚職も厳しく取り締まられているが、汚職追放の最善の道は表現の自由
すべての国が、少しずつ民主主義に向かって進んでいる
表現の自由 政治活動の自由が確立されている我が国の素晴らしさ
更にこれを発展させるために努力を

読書の大切さ
視覚情報が確立されている今日、活字に親しむことは特に大切
「文芸は 実人生の地理歴史」 菊池寛

図書館は原則として365日開館 固定席は設けない
勉強ばかりでなく本も読んで欲しい
中学生には中学校専用図書館

高校生、中学生共に、英語の授業のほかに、沢山の、自分の実力にあった英書を読んで欲しい
数学は大切 どのようにすれば底力をつけられるかを教師に尋ねて欲しい
自学自習は成功のための捷徑

ご来賓に感謝
保護者の皆様にご協力を
PTAの役員にも積極的に参加を

韓半島の平和 非核化に期待する

一衣帯水という言葉があるが、韓半島は我が国に極めて近い。日韓併合に対する韓国人の反発が強いのは理解できるが、京城には京城帝国大学があった。「植民地」に帝国大学を作ったのは、日本くらいのものであろう。少年時代に私は、偉大な韓国人にお会いしたこともあり、朝鮮人を深く尊敬していた。今もその気持ちは変わらない。

北朝鮮は、人口二千万余の小国だが、ハリモグラのように武装しており、小国にしては歴大な軍事力、生物、化学兵器を備えた大量の特殊工作軍も存在すると伝えられる。

国内に入り込んで、少なからぬ日本人を拉致、誘拐したことも知られている。中国と急接近した肉親の叔父を処刑し、その手順の中で実の兄をも毒殺した。平和でのんびりした、我々隣国の者に取り、まことに恐ろしい武装国家集団である。

その北朝鮮が、一転して平和攻勢を仕掛けてきている。どんな平和も戦争よりは尊い。この平和攻勢が、朝鮮半島全体の非核化につながるならば、こんな有り難いこと、こんな嬉しいことはない。

本当に北朝鮮の指導者は、核戦略を放棄するに至るのであろうか。切にそれを望む。

心配なことがある。アメリカの大統領が、北朝鮮との協議の中で、アメリカに届く大陸間弾道弾さえ廃棄すれば、北朝鮮が核保有国として存続することを容認するだろうとの噂である。

韓国政府は、北との和解、協調に前のめりになっている気配もある。そもそも、朴大統領ほどの女性に、汚職があった等と言うことを私は信じない。その「摘発」は、巧みに仕組まれた「南北和解」のプロローグだったのではないか。そんな気がしてならない。

どうも、日米韓、三国の中で、韓国が最も北に好意的であり、アメリカがそれに次いでいる。直接関わることの少ない日本が、北朝鮮に対して、最も苛烈な姿勢を維持しているのではないか、そんな不安を禁ずる事ができない。

最終的には、全世界の核兵器を廃棄しなくてはならない。いずれ、携帯可能な核兵器が作成されるようになるであろう。それを無責任な暴力集団が握った場合、人類は生き残る事ができないのではないか。

アメリカ ロシア イギリス フランス 中国 インド おそらくはパキスタンも。これほど核が拡散する中で、人類は本当に存続し続ける事ができるのであろうか。「辛うじて責任を維持できる大国」の核兵器は、小国の核兵器を完全廃棄するために役立て、最終的には、世界のすべての核兵器を廃絶させること、これが、人類存続の唯一の手段なのであろう。

私は、蟻の集団的社会生活や、蜂の見事な巣作りを見ていると、その背後に、神の存在を感じるが、若しかして、この聡明な昆虫は、かつて高度の文明社会を形成し、核の活用まで発展し続けたところで、核戦争により、すべてを失い、その残影が、このような形で残っているのではないかと考えるときがある。

勿論、妄想なのだが、世界の現状を見るとき、本当に人類が、後、百年を生き続けることができるであろうかと思うと、暗い気持ちになる。一次大戦後 21 年で二次大戦が始まった。二次大戦が終わって以来 73 年になる。平和は何としても守り抜かねばならぬ。



入学に寄せて

第1学年担当教員からのメッセージです。



【中等部】

中学部長（1組担任） 北谷 高志

新しい環境になるということは、どの世代の人においても緊張するものです。しかし、君たちの将来は明るいものとなっているはずで、光輝く人生の区切りの第一歩としての今日を、堂々と胸を張って迎えてください。そして、その歩を着実に進めることができるように、努力してください。

2組担任 福嶋 さよ

ご入学おめでとうございます。みなさんには、この学校で様々なことに挑戦して欲しいと思います。まず、自ら行動してみましよう。それが新たな発見に繋がっていくのではないのでしょうか。また、失敗は誰にでもあります。失敗を恐れずに挑戦していくことが自分自身の成長に必ず繋がっていくのではないのでしょうか。

副担任 黒岩 俊介

ご入学おめでとうございます。たくさんの希望と大きな夢を胸に校門をくぐったことと思います。その希望と夢を実現できるかはこれからの皆さんにかかっています。大切なのは、たとえ遅くとも一步一步確実に自分の足で前に進むことです。そうすれば、道は自然と開けます。これからの皆さんの活躍を楽しみにしています。

副担任 高橋 奈央子

ご入学おめでとうございます。多くを学び、多くの仲間や先生方との出会いの中で、狭山ヶ丘学園でしか築けない「自分らしさ」を見つけましよう。感謝の心を常に忘れず、大きな夢に向かって、勇往邁進してください。日々の小さな努力の積み重ねが、6年後、花咲きますように。

副担任 判田 旭

この春、私も新入生の皆さんと同様に狭山ヶ丘での生活が始まりました。私は中学生のときに教員を志し、これを目標に自分の進路を選んできました。中高の6年間は自分の将来を決めるうえで重要な時期になります。皆さんもこれからの生活のなかで目標を見つけ、その実現に向けて頑張る姿を見せてくれるものと期待しています。

【高等部】

学年部長（B組担任） 地挽 保雄

君たちは、様々な目標を抱いているはずで、その目標達成に向けて、常に最大限の力を注いでください。自分でしっかりと歩を進まなければ本当の成長に繋がりません。また、チャンスも掴めないのです。高校での生活ではチャンスが沢山あります。そのチャンスを逃さぬよう、日々精進し、準備しておくことが大切です。新入生それぞれが大きなチャンスを掴めることを期待しています。

C組担任 下野 哲史

これからの学校生活にあたって、まずは大きな目標を掲げてみてください。そして、それを実現するために何をすべきかをよく考えて日々生活してほしい。なんとなく過ぎる毎日には決してならないように！これから始まる学校生活を有意義にできるかは、他でもなく自分自身によるということを忘れずに！

A組担任 井場 美恵

入学おめでとうございます。新生活のスタートを迎え、皆さんはどのような気持ちでいるのでしょうか。今日の1日が、この一瞬がそれぞれの未来に繋がっています。何かに迷ったり悩んだりしたときには思い出してください。進むべき道が自然と見えてくるはずで、これからの3年間が充実した日々になるように心から応援します。

D組担任 渡邊 南美

皆さんは今どのような気持ちでしょうか。今のその気持ちを忘れないでほしいのですが、いつまでも立ち止まっていたはいけません。常に先のことを考えて行動しましょう。高校に入ったら何をしたいか、どのような自分になりたいのか、はたまたその先は？高校時代は皆さんが思っている以上に短いのです。後悔のない学校生活を。

E組担任 山田 真緒

入学おめでとうございます。皆さんがこれから過ごす3年間の中には楽しいことや嬉しいことはもちろん、今まで経験したことのない困難に遭遇することもあるでしょう。どんな時でも決して現実から逃げずに全力で立ち向かっていきましょう。私もそのサポートを全力でしていきます。皆さんのこれからの活躍に期待しています。

F組担任 中角 元

入学おめでとう。何をなすにも、最初は「目標」を立てるところから始まります。その「目標」は達成できたか否かが明確に判断できるものでなければなりません。今後の学校生活が「何となく楽しかった」で終わらせず、自らの「目標」に向かって100%の準備と努力をして、輝かしい未来へ繋がるものとなることを期待しています。

G組担任 山田 将之

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの、新たなスタートが始まることをうれしく思います。これから3年間、自分を大きく成長できるように強い決意を持って学校生活を過ごしてください。

H組担任 飯村 高宏

我々の時代は果たして〈豊か〉になったのか。失ったものは、一体なんなのだろう。春は時として人を思索の旅へと誘（いざな）う。悩み、迷うことがあるかも知れぬ。向上心も大切だが、如何なる時代や場合にあっても「感謝」と「思いやり」は忘れてはならない。新しい人間関係を構築するには、少々勇気も必要なのである。

I組担任 熊谷 昌人

皆さんは今日から狭山ヶ丘学園の一員となりました。これから、たくさんの躍動する姿が見られることを今から楽しみにしています。高校3年間での生活が、一生の思い出としていつまでも心に残るように、心身ともに日々の生活を充実させていきましょう。

J組担任 平 研一

皆さんご入学おめでとうございます。いよいよ今日から新生活のスタートです。高校生活への期待と不安が入り混じった、今日の心地よい緊張感を、どうぞ忘れないでください。また、色々なことに挑戦し、新たな自分を見つけ、成長して行ってください。皆さんにとって最高の高校生活が送れますように。

K組担任 荒井 佑久也

ご入学おめでとうございます。私は高校生活をどう過ごすかで今後の人生が大きく変わると思っています。良い高校生活にするために自分の持つ可能性を最大限に信じて大きな夢を描いてください。そして、それを達成するためのストーリーも描いてください。そうすれば今何をすべきか明確になります。さあ、確かな一歩を踏みだそう。

副担任（渉外部長） 伊藤 孝文

私たちは物事に容易に辿り着くことができるときには成長しません。厳しい試練に直面し、苦闘の中で突破口を見つけたときに大きく成長するのです。あなたが幼い頃に父母がしてくれたのと同じように、意志が強く、粘り強いあなたを形づくりたいという熱意から、学校は敢えてあなたを困難な立場に置くのです。Do not limit your challenges. Challenge your limits!

副担任（生活指導部長） 伊東 義弘

新入生皆さん入学おめでとうございます。期待と不安を胸に本日を迎えられる事でしょう。本校での3年間の高校生活が、皆さんにとって有意義な3年間となるように願うとともに皆さんの活躍に期待しています。「志を高く」掲げてさらなる向上を目指してください。本校での頑張りは、3年後の更なる飛躍となるでしょう。

副担任 杉山 真悟

皆さんは、「つかまり立ち」から「ひとり歩き」する時代に入りました。思考力やスキルを向上させると同時に、『皮膚感覚』を磨きなさい。アンテナを張り巡らせて、周囲を細かく観察し、少ないチャンスを逃さない『感性』を研ぎ澄ませなさい。こんな生き方をしたいという「人生設計図」を描き、『自己投資』を惜しまない3年間が始まったのです。10年後「夢を実現している自分」であるために！

副担任 山野 龍太郎

いよいよ狭山ヶ丘での高校生活がスタートします。いま振り返れば、中学校の3年間はあっという間だったと思いますが、高校の3年間は、それ以上のスピードで過ぎていきます。あらゆることに全力を尽くして、悔いが残らない時間を送ってください。卒業を迎える時、狭山ヶ丘に入学して良かったと実感できるような高校生活にしましょう。

副担任 石井 満柄

入学おめでとうございます。人生について語れる年齢になった私から一言。高校の3年間はあっという間で、夢中で過ごした日々ですが、そこで得たことがその後の長い人生の糧になり、もっと知りたい、学びたいと思う気持ちになっていることは間違いありません。今でも当時の先生の顔を思い出します。最高の高校生活になるよう応援しています。

副担任 小野澤 洋平

新入生の皆さんのご入学を祝う気の利いた言葉を書きたいのですが、自分にはそんな文章力がないようです。自分は、皆さんと魂と魂でぶつかり合うことしかできない不器用で時代遅れの一教師です。皆さんと一緒に熱くなれる日を楽しみにしています。

副担任 青島 天涯

新一年生の皆様、ご入学おめでとうございます。大きな期待と同時に、不安も感じている人もいると思います。その一方で、それらが混ざり合った緊張感を楽しんでいる人もいるかもしれません。私はいくつになっても新しい環境には緊張してしまいます。私も狭山ヶ丘1年生として皆さんと一緒に頑張っていきたいと思いません。